

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		「食農連携」による首都圏農業の持続可能性			
研究テーマ (欧文) AZ		Sustainability of Agriculture in Metropolitan area by “coalition of food and agriculture”			
研究氏 代表 者	カナ CC	姓) ニシキド	名) マコト	研究期間 B	2010 ~ 2012 年
	漢字 CB	西城戸	誠	報告年度 YR	2012 年
	ローマ字 CZ	Nishikido	Makoto	研究機関名	法政大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		法政大学・人間環境学部・准教授			
概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。)					
<p>日本の都市近郊における農業は、従事者の高齢化や担い手不足、高額な相続税や固定資産税の負担を背景に、営農継続が危ぶまれている。よって、都市農業を維持していくためには、個々の農家の経営努力に依存するだけでなく、都市住民のサポートや協力も必要である。本研究では、「農業体験・労働」や「循環」という視点から、都市農業が目指す方向性や「持続可能性」を検討しつつ、その核となる農業者と消費者を結びつける「食農連携」の可能性と課題を論じた。</p> <p>第一に、都市農業に関する包括的な文献レビューを行い、都市農業に対する政策、市民からのまなざしの変化が、1990年代に急速に変化し、都市における農業、農地の保全が重要なトピックスとして浮上してきたことを明らかにした。第二に、都市農業における「農業体験・労働」に関して、市民による援農ボランティアの実態と、それが都市農業の持続可能性に及ぼす可能性と課題について考察した。第三に、東京都日野市における、地場産の野菜を用いる学校給食の持続可能性を、農家、JA、行政、学校などのアクターの連関から考察し、農業者と消費者を結びつける「食農連携」の一つの形を論じた。第四に、都市農業における生業と、市民によるさまざまな実践活動を結び、農業者と消費者を結びつける「食農連携」に関する理論的考察を行った。以上の研究成果の多くは、法政大学サステナビリティ研究教育機構の『サステナビリティ研究』(第3号・2012年)の特集として掲載される。</p> <p>さらに、本研究を遂行する上で、首都圏以外の都市農業、農地保全に関する比較研究の道が開けたことも一つの成果である。しかしながら、2011年3月に発生した福島第一原発事故の影響で、放射線に関する問題が発生し、本来、企画していた都市農業に関する実態調査が遂行できなかった点が本研究の課題である。今後も本テーマに関する調査研究を継続していきたいと考えている。</p>					
キーワード FA	都市農業	持続可能性	援農ボランティア	学校給食	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	都市農業をめぐる今日的論点の整理—先行研究レビューを通して—							
	著者名 ^{GA}	関司直也ほか	雑誌名 ^{GC}	サステナビリティ研究					
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}	2	0	1	2	巻号 ^{GD}	3号
雑誌	論文標題 ^{GB}	都市農業における生業と実践とを結び直すサステナブル・リンク							
	著者名 ^{GA}	黒田暁	雑誌名 ^{GC}	サステナビリティ研究					
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}	2	0	1	2	巻号 ^{GD}	3号
雑誌	論文標題 ^{GB}	都市農家から見る『地場産学校給食』の意義と課題							
	著者名 ^{GA}	船戸修一	雑誌名 ^{GC}	まちと暮らし研究					
	ページ ^{GF}	89～95	発行年 ^{GE}	2	0	1	2	巻号 ^{GD}	15号
図書	著者名 ^{HA}	小島聡・西城戸誠（編著）							
	書名 ^{HC}	フィールドから考える地域環境							
	出版者 ^{HB}	ミネルヴァ書房	発行年 ^{HD}	2	0	1	2	総ページ ^{HE}	290ページ
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

This research examined the directivity of an urban agriculture and the “sustainability” of an urban agriculture from the viewpoint of “agricultural experience and labor”, and “circulation.” And it is especially discussed that the possibility and the problem of “food-agriculture Cooperation” which connect farmers and consumers.

First, we performed comprehensive literature review about an urban agriculture. And it is examined that the perspectives of the policy and citizen to an urban agriculture changed in the 1990s, and it is showed that the preservation of the agriculture and farmlands in a city has becoming important topics.

Second, in relation to “agricultural experience and labor” in an urban agriculture, it is considered that the realities of the volunteer for supporting farming by citizens. And it is showed that the sustainability of an urban agriculture influenced by the volunteer for supporting farming.

Third, it is discussed that the sustainability of the school lunch using the vegetables from a local area Hino-shi, Tokyo, from the viewpoints of the relation of actors, such as farmhouses, JA, local administration, and schools.

Finally, it is performed that theoretical consideration about “food-agriculture Cooperation” which connect farmers and consumers.